

## 第9回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成28年3月10日(木) 10時00分～12時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 25名

(委員) 19名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長  
井上恵美子委員、井原武志委員、鵜籠雅之委員、倉上智華委員、黒澤昭徳委員、  
小高明美委員、齋藤泰雄委員、諏訪淳嗣委員、高田健委員、田代秀一委員、  
福嶋俊樹委員、星野美子委員、松岡忠男委員、村上隆子委員、山本英夫委員、  
若生和子委員

(オブザーバー) 1名

田中(副区長)

(事務局) 3名

細田(コミュニティ課長)  
池羽、土井(コミュニティ課)

(コンサルタント) 2名

森、植田((株)社会構想研究所)

## 4 議 事

- (1) 開会
- (2) 協議事項
  - ①第7期区民会議協議テーマについて
- (3) 閉会

## 5 議事内容

### プレゼンテーションの方針の検討 ～スライドの作成と発表原稿の作成～

6月（第12回区民会議）の成果発表会で、今までの協議の成果を区長へのプレゼンテーションするため、どのように発表をするのか、方針の決定と発表資料の作成をおこなった。

まず、事務局が作成した発表スライド案（叩き台）をもとに、これまでの区民会議での協議の経緯についての発表方法に対して、全体で協議をおこなった。協議の経緯については、第7期区民会議の独自性の強調や、説明の簡潔化といった部分について修正をおこなうこととなった。

次に、具体的な提案内容について、発表の方針や発表内容について、各委員の興味関心により「大宮紹介・案内」「文化（歴史・食）」「イベント」「まちづくり・その他」といった、区民に伝える・知ってもらう内容別に4班に分かれ、グループワークをおこなった。

#### 【大宮紹介・案内】

- ①大宮駅等の周辺の商業施設などの人が集まる場所に、大宮を紹介する案内コーナーを設置する。⇒現状を把握し、どのようなものが可能なのか再調査する。
- ②既存の媒体を活用し、大宮のイベント情報や魅力を発信する。⇒市・区報や地元フリーペーパー、アルディージャのマッチデープログラム等での情報発信に協力をしてもらう。
- ③大宮案内所として、気軽に大宮について尋ねてもらえるような案内を店頭に掲げてもらえる店舗を募集する。⇒大宮二十景の場所を中心に募集する。

#### 【文化（歴史・食）】

- ①大宮アンテナショップをつくろう⇒新区役所などに大宮の特産品（大宮ナポリタンやヨーロッパ野菜など新名物も）とピアショップを併設して、区民がお茶などを飲み集える場を設ける。パンフレット等も置き、大宮の歴史や文化がそこに行けば分かるようにする。
- ②小中学生が大宮の文化（歴史）に触れる機会をつくる。⇒まちの歴史（コクーンの由来の製糸工場など）を知って、このまちをもっと知りたいと思うきっかけをつくる必要がある。さいたま市ロールプレイングゲームなど、子どもが遊びながら学べる工夫をする。大人に対しては魅力発見ツアー（食をテーマにしたもの）に多くの人に参加してもらう。

### 【イベント】

イベントをPRするために

- ①大宮駅東口にイベントが分かるもの（タッチパネルやQRコード）を設置する。
- ②前月にイベントカレンダーをつくり、掲示や学校での配布をする。
- ③「ヌウストゥデイ」など今あるサイトを活用する。
- ④区報や市民活動ネットワークだよりに継続的にイベント情報を入れる。
- ⑤大宮のイベントをもっと育てることにより、大宮の場が育つ。

### 【まちづくり・その他】

- ①氷川参道を中心に、大宮駅やさいたま新都心駅から氷川神社までの道のりを、皆が歩きたくなるような通りにする。（紫陽花の植栽や灯籠の設置など、名所や休憩スポットになるようにしたり、鎌倉の小町通りのような通りにする。）
- ②小学校単位で、幅広い世代の卒業生が集まれるイベントをおこなう。（多世代交流や地域に愛着が生まれ、大宮に戻ってくるしかけをつくる。）
- ③子どもたちが主体的にまちづくりに参加できるような場をつくる。
- ④ライオンズが大宮球場でおこなうホームゲームを年間半数程度に増やす。

次回、第10回の区民会議でも、成果発表会に向けて、引き続き作業を続けることとなった。

次回第10回区民会議は、平成28年4月22日（金）午後2時から区役所1階多目的室で開催予定。